

# 関東あまたか

関東



発行者 山中 麗子  
発行所 関東あまたか会  
事務局E-Mail kimicchan135@gmail.com

## 天草高校の絆

関東あまたか会会長 山中 麗子(高21)



この数年は新型コロナの影響で、役員会も総会もZOOMのオンラインでした。

しかし、11月の「サイエンス・アゴラ」を応援すべく現地に出かけ、宮崎先生を始め、私達の時代と変わらない懐かしい制服を着た学生たちを間近に見て、またキラキラした目が印象に残りました。

特に主催の文部科学省の視察の時に、堂々と研究の成果を説明する代表の姿もさすがに素晴らしいと拍手をしました。やはりオンラインでは伝わらない、リアルはいなど感激しました。これからもさまざまな分野で頑張つて、世界の天草高校となつてほしいと思います。また、昨年最後の役員会



3年ぶりの対面での役員会

員会を「スクワール麴町」で実施しましたが、参加した役員は、相話がたまっていたらしく、席についたとたんに話が縦横無尽に飛び交いました。明瀬副会長からは、一時は体調不良で落ち込んだ時期があつたが、病院を辞めて野菜作りになり、高菜が沢山出来、近所に配れた。また趣味の水墨画を寄付した。院長先生からお礼の手紙が来て嬉しかった。谷山相談役からは、年を取つたら、「あいうえお」で生きることを教わりました。①会いたい人に会う。②行きたいところに行く。③嬉しいことをする。④選ぶこと。⑤おいしいものを食べることだそう。みんな納得。これもすべて天草高校のたつた3年間の絆ですが、私達には一生のものとなっております。これからは故郷を大切に、この天草高校で得た友好の輪を広げていきたいと思います。

## 感謝

ふるさと天草を愛する子どもたち

天草高等学校校長 馬場純二(高33)



11月5、6日に開催された「サイエンス・アゴラ」

では大変お世話になりました。当日は、同時進行で「STI for SDGs」アワードの次世代賞授賞式も開催されておりました。

「STI for SDGs」アワードとは、日本科学技術振興機構が、科学技術イノベーションを用いて社会課題を解決する優れた取組を表彰する制度で、「次世代賞」は全国の大学・高校を対象に、特に優秀な学校を年間3校程度表彰するものです。天草高校は、2019年(※この年は天草高校のみ)に続いて、2022年「天草ブルーカーボンニュートラルく地域循環型クリーンエネルギーの創造」でも受賞となりました。複数回受賞校は初めてです。選考理由に「自身が暮らす地域を愛する気持ちから、自治体や地域住民を巻き込んだ」という文言があり、胸打たれました。今回、改めて、子どもたちの「天草愛」を表彰されたような気がしています。



激励に訪れた関東あまたか会の役員と

先日、天草市の馬場市長とのポランティアトークに、2年生の白迫君が参加しました。本渡南小、北小、本渡中、五和中など、地元の小中学生を対象に定期的に行っている学習支援を紹介し、教える楽しさを披露するとともに、「天草の子どもたちは英語の苦手意識が強い。今後は、天高生が英語等を教える(天草寺子屋)を積極的に推進していきたい」と意気込みを述べました。馬場市長も、「とても熱を感じる。子ども食堂等も活用して、自分たちで考えたことを積極的に行動してほしい」と応援して下さいました。

天高生たちは、自ら様々な活動に取り組み仲間と協働して解決に動いています。本当に魅力的な子どもたちばかりです。これらもひとえに、同窓生の方々の温かい応援があつたればこそです。「サイエンス・アゴラ」には、多くの同窓生が足を運んで下さいました。早稲田大学院で原子力工学を学ぶ山崎さんにも7年ぶりに再会できました。九州大学のブラスには天高を3年前に卒業した生徒が発表者として立っており、改めて天高生たちの頑張りに胸を熱くしたところです。そして何よりも、関東あまたか会の山中会長はじめ役員の方々が自ら足を運んでくださりおいしいお弁当まで差し入れてくださるなど、他のブラスでは全く見られなかった光景でした。11月13日の天草高校大同窓会で、「関東あまたか会の方々の歓待ぶりを紹介し『これこそが天草高校の絆なのだ』と実感しました」と挨拶したところ、万雷の拍手が湧き起こりました。本当に感謝しかありません。



STI for SDGsアワード表彰式で次世代賞受賞代表の石原君は、受賞後の一言コメントで、「これからも研究を継続し、地域に貢献できるように頑張りたい。」と力強く話していました。

## 開催報告

馬場 信子(高21)

令和4年10月16日(日)午後3時、オンライン友好の集いが開催されました。コロナの脅威は相変わらずで不本意ながら2度目の電波を介しての対面です。

それでも10月1日浅草でオンライン講習会を開くなど、幹事さんたちの大変な努力の結果、45名のエントリーを頂きました。

オンライン2度目とあって若干は操作に慣れていましたが、音声が繋がらなくて結局諦めたり、一人2分間の持ち時間では間に合わなくて、漸く出身中学までたどりついた処で時間切れとなったり、早い時間の退出で出番が回ってこなかったりと残念なことは多々ありましたが、2時間の持ち時間を皆さん満喫していました。今回も休憩時間にKTさん(高70)の山崎美里さんの妹の若い歌声や、江頭さんの懐かしいフルートの演奏で気分一新。冒頭の校長先生の10分間の熱のこもったお祝いメッセージから始まって最後の校歌斉唱まで恙なく終了しました。

「松野さんに会いたかった」という人がいました。「今の彼に会いたくて」と初めての参加を決めたそうです。2分間で出身地などよりも「今の自分」を紹介しませんか？

昨年にも増して、世代間地域間の中が広がり、初めてお目にかかる方、懐かしい方に出会い、いろいろな話を聞かせてもらいました。また、皆様が元気に活躍されていることを伺い知ることも出来ました。長い歴史、広い世界の中で、天草高校在籍はわずか3年間、極めて僅かな期間です。天草高校を通して同窓生の皆様の話を聞かせてもらい交流が出来たこと素晴らしい。しかも、天草にいながら遠く離れている方と友好の集いができること、夢のようです。交流の輪がますます広がっていくことを期待します。「見知らぬ者同士が同じ高校に学んだというたった一つの接点を拠り所にお互い助け合い、和合し合って、より良い人生を生きられる場所になれる事を、関東あまたか会は目指しています」令和4年度新卒歓迎会(事務局次長 高21 馬場 信子)の言葉にあらためて感銘を受けました。



西田 勝年  
(高12)

関西から参加させて頂きました。オンラインでの集い、参加者も多く、幅広い年代・地域にわたり、ホストの松野さん・司会の吉村さんのリードも素晴らしく、デジタル時代にマッチした有意義で楽しい会でした。ありがとうございました。私は常に、ご縁(5縁：①血縁 ②地縁 ③学縁 ④社縁 ⑤趣縁)を繋いで同窓会を楽しみたいと思っております。天草で育ち、天草で学び、各地に飛び立った卒業生が同窓会で交流を深め、ご縁(5縁)を通じて更に繋がっていければと念じております。私の子供達は関東に住んでいますので都合をつけて、来年の同窓会にも参加したいと思っております。今後とも宜しくお願いいたします。



本島 昭男  
(高15)

# 総会



江頭 真喜子  
(高28)

オンラインの総会、友好の集いを通してたくさんの人と繋がることができました。例年、28回生の参加が少なく、今回は原田真司さんと熊本から金子徳政さんに参加していただき、とても嬉しかったです。対面でお話してきたら一番良いのですが、まだコロナは収束できず、多数の方が対面式同窓会は警戒しているように感じます。オンラインの良いところは、コロナ禍を気にせず、遠くにお住まいの方も気軽に参加できるということです！自己紹介で出身中学校を聞いた時は、あの頃を思い出して笑みがこぼれます。次の総会は、オンラインか、対面になるかわかりませんが、また、たくさんの方と出会って繋がっていくと思うと楽しみです。



吉野 睦子  
(高27)

上京して47年が経ち、初めて「友好の集い」に参加させて頂きました。いきなりオンラインでの開催と聞き戸惑いましたが、今や孫達もこなしているZoomだからと思い、初挑戦いたしました。ただ事前の準備が分からず、当日ぶっつけ本番で参加した為、緊張と焦りで終わってしまった感があります。後日、会報43号に今回のオンライン総会の案内記事を見つけ、手順を踏まず参加してしまった事を反省しております。今後はしっかり会報に目を通さなければと思いました。ただ、オンラインのおかげで47年ぶりの同級生を始め、先輩後輩の皆様のお話や校歌等をゆっくり再生して聞くことができ、終了した後も楽しませて頂いております。以上です。何かありましたらご連絡頂ければと思います。

## ビデオレター

天草高等学校校長

馬場 純二(高33)

皆さんこんにちは。関東あまたか会総会、おめでとうございます。本日はビデオレターで失礼します。

最近の後輩たちは、高校総体では陸上で南九州大会へ進出、吹奏楽部も県内の優秀な4校に入り県総合文化祭に出場するなど活躍しております。進学も九大、熊本、東京芸大、国際教養大など合計31名でした。天草高校は「伸びるあまたか生」と言われ、合格者の割合が40%。公務員試験も防衛大も好成績です。

SSHでは2期目の指定を勝ち取り、今年もキリバス共和国NP Oや沖縄県立尚陽高校とアマモの共同研究をし、11月にはお台場で熊本県の高校で唯一、環境保全の取り組みを発表しました。また天草市の仲介で韓国の忠清大学とも文化交流を開始。台湾の大学に進学したい生徒もおります。

嬉しい話題の一つ。4人の寮生が帰る途中で、あるご婦人の異常に気付き、応急処置や救急車を手配するなどして、翌日消防署長からお礼の電話がありました。このような若者がこの天草に育ちつつあります。先輩方安心してください。



山下 太郎  
(高42)

オンライン形式の総会となりましたが、先輩・後輩方々のお顔を拝見出来て本当によかったです。皆様の近況報告や素敵な余興もあり、大変楽しく参加させて頂きました。特にオンライン参加者の皆さんで校歌を歌う様子は大変感慨深く、貴重な体験でした。母校を思い出す一方で、関東あまたか会の一体感を感じました。とても良い取組と感じました。自分の年齢前後の参加者が少なかったのは少し残念ですが、来年度はいろんなネットワークを使って、いっぱい参加者を集めるように頑張りたいと思います。会報を見られた皆さんも是非参加しましょう！来年は対面の総会にて、お一人お一人と直接会話が出来る日を楽しみにしております！



山下 敏宏  
(高58)

先日開催された、天草高校総会・友好の集いに参加させて頂きありがとうございました。私自身初参加でしたが、とても貴重な有意義な時間を過ごすことができました。一番思ったのは、天高の先輩方がたくさん関東にいらっしゃるということです。就職して12年、東京に来たときは知り合いは1人もおらず、とても故郷・天草を強烈に焦がれたことを思い出しました。現在は東京消防庁にて日々、訓練と様々な災害と闘う日々ですが、関東におられる先輩方に私の活躍が耳に届くよう、故郷・天草の誇りを持って職務に邁進していこうと思います。これから寒くなり、火災の多い時期になってまいります。体調管理とともに火気の取り扱いにも充分にお気をつけください。



山崎 美里  
(高70)

今年こそは、と対面での実施を待ち望んでいましたが、オンラインにて無事に開催され、今年も参加させて頂きありがとうございました。また、高1の妹(ケイティ)まで一緒に楽しませていただき、感謝しております。皆様の近況を聞いていると、思わずほっこりする話ばかり。まるで親戚が集合したかのように楽しい時間になりました。総会中には、妹の歌唱動画も流していただき、皆様に【ひこうき雲(カバー)】【らしく

(オリジナル)】を聞いていただきましたが、いかがでしたでしょうか？「あまたか会用に動画ば撮るよ？」「え〜、そがん言われたら緊張するやん」と緊張気味に、急いで撮影したものになってしまいました。次回はぜひ対面の場で、Liveで、楽しんでいただければいいなと思います。



佐佐木 瞭  
(高68)

Zoomでの総会に初めて参加しました。直接お話したことはありませんが学年が被っていた方も参加されており、少し懐かしいと感じました。今回参加された方の中には同じ部活動で活動されていた方達もいらっしゃったようでした。私自身も当時男子ソフトボール部に所属しており、今回の様な機会と一緒に汗を流した部員達と顔を合わせられると楽しいだろうなと感じました。最近では新型コ

ロナウイルス感染防止の観点から、さまざまな行動が制限され、昔の友達と会って近況報告をする機会はありません。今回の様なZoomでの総会の機会があるので、自分のやりたいことに向けて頑張っている人の姿であったり、変わらず元気に過ごされている姿を見るのは日常生活に刺激を与えるものになりました。

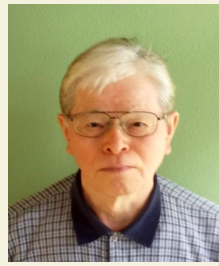


# オンライン

10月16日にオンラインでの『総会・友好の集い』を開催しました。45名のエントリーいただき、馬場純二天草高等学校校長先生のビデオレター、近況報告や余興などで盛り上がりました。米国、天草、熊本、関西や仙台からもご参加いただき、オンラインならではの会となりました。

# 私の 天高時代

旧校舎時代 ～30回生以前～



倉田 蕃造  
(高16)

## 寮生活で会得したもの

私は、高校3年（昭和36年4月～39年3月）の間は啓明寮で過ごしました。この寮生活で教えられたことは多々ありますが、こんにちでも社会生活に影響を与えたと思われるものが、2つあります。その1つは朝礼と掃除です。寮は、起床と同時に掃除し朝礼という流れでした。これは集団ですから必要な行いだったと思います。しかし、私は、起床になかなか慣れず、しばらく悩んだことがありました。それでも、毎日続けることによって解消し、規則正しい生活が出来るようになったという記憶があります。2つは挨拶です。寮は集団であっても、個人的な面もあります。ことに、先輩に対する挨拶や言葉使いがぞんざいであると、後ほど説教と言って、おごごとを喰らうわけです。これを避けるために、やや遠く離れている段階から挨拶をし、言葉使いにも気を使うという状態でした。このたった2つの規則正しい生活習慣が身に付いたかどうか分かりませんが、卒業後における会社勤務や人間関係にそれほどの苦労もなく、また今日まで勤務できたことは、寮生活によって会得したものが大きく影響したと考えています。

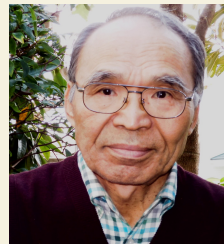


鶴田 健治  
(高25)

## 自転車通学から下宿生活へ

高校は大学進学に向けてのステップと覚めていた。実家は五和町の通詞島で、バス酔いがあることから1時間くらいかけて自転車で通っていた。その頃はまだ二江と通詞島間の架橋ができておらず渡し舟を利用していた。夜7時前の最終便を逃すと迎え便を頼まないといけないし、進学コースでの朝の補習にも間に合わない。部活も望むべくもなかった。そのため、2年生になる前に、親に頼んで本渡南町に下宿させてもらった。3年生時、ちょっと環境の良い別の下宿に移り高校生活を終えた。下宿したおかげで進学補習はもちろん、部活に参加できるようになり、その時できた親友の下宿で深夜、電熱器で鍋ラーメンを作って食べるという経験もできた。初めて銭湯にも通い、腰に手をあててコーヒー牛乳をぐい飲みしたのが懐かしい。1時間以上かけての自転車通学からプチ贅沢な下宿生活に変わり、はたして大学受験に役に立ったのかと問われると「志望校に受かり、思い出も作れたのだから効果絶大でした」と親に感謝している次第である。

（この文章は上記の欄に重複して記載されています）



中河原 昭夫  
(高17)

## 体育行事のダイナミックさ

まず、運動会の思い出です。1年の運動会では、体育時間に、校外へ出て皆で4～5mもある丸太をたくさん運びました。それは運動会のスタンドだったのです。スタンドの上には美術部で作成した勇壮な絵が飾られました。また、3年時には仮装行列があり、私は10人のクラスメイトとバトンガールに扮しました。バトンを回すなんて初めだったので、隣の南小学校に行って、ブラスバンド部の小学生にバトンの回し方を習いました。衣装の上服は、赤いチョッキに飾りをつけ、まるで西部劇、下は白いスカートに、靴は女子の雨靴を白く塗って、白い手袋、頭は花飾りをつけた帽子、当日は堂々と行進しました。次の大きな行事は、毎年勤労感謝の前日のマラソン大会。体育時間は毎回長距離走、十万山への往復の走り、練習の仕上げは10km走でした。3年間参加しましたが、1度も完走できず、2年時、25kmまでは休まず走れたのですが、その後は足が上がりず歩いてのゴールでした。でも約600人中48位に入りました。天高での生活はスケールの大きな経験となりました。

新型コロナウイルス等の関係で天草へ帰郷を検討されている皆さん

# めぐみ保育園

一緒に働きませんか？

問合せ 電話0969-23-7334(担当:金子)

〒863-0038 熊本県天草市南町6-9




5万㎡の広大なリゾート

ALLEGRIA

アレグリアガーデンズ

〒863-0001  
熊本県天草市本渡町広瀬996  
TEL (0969) 22-3161

http://www.hotel-alegria.jp



舎川 恵子  
(高35)

### 部活に明け暮れた天高時代

天草高校を卒業してから早40年、信じられないスピードで過ぎていきました。思い出と言えば部活。学校に行く目的は部活と言っても過言ではありません。テニス部に所属し顧問の林二郎先生のもと真っ黒に日焼けしながら練習していました。今のご時世では考えられないことですが、試験前の放課後自家用車で室内練習場のある苓北まで行き練習したり、熊本での試合にも自家用車で連れて行っていただいたり、先生は休みもなく熱心に私達を指導して下さいました。本当に感謝しかありません。私は部活が大好きで本当に一生懸命やったのですが、勉強はというと・・・成績が悪くてもちっとも気にならない、林先生もこれには頭を抱えていらしたと思います。先生ごめんなさい。生まれ変わったら今度はしっかり勉強しますね。もちろん部活ももっと頑張ります。大学受験では「これ以上ないくらい褒めておいた」という林先生の推薦状のおかげで体育学部に合格しました。先生ありがとう。還暦まであと2年、今欲しいものはあの頃の疲れ知らずの体力。まだまだ孫と走り回れるよう元気でいたいです。



田川 貴教  
(高71)

### 大学受験準備と部活

私は、河浦中学校から天草高校に進学しました。小さな学校出身だったため、初めは環境の変化に多くの不安を抱えてました。しかし、時間と共に環境の変化にも慣れ多くの仲間と出会い充実した3年間を過ごせました。特に勉強では、1年生の頃から朝課外のため朝早く登校し、眠気と戦いながら勉強していたことが印象に残っています。高校3年生になると大学進学に向け夕課外も始まり、志望校合格のためにクラスメイトと一緒に切磋琢磨しながら勉強していたことを思い出します。「天高時代」の1番の思い出は部活動です。私は剣道部です。日々、少人数の中で稽古に励んでいました。少人数だったからこそ様々な経験をする事ができました。きついこともありましたが、コーチ、監督、保護者の方々など私たちに関わってくださった様々な人のおかげで貴重な時間を過ごすことができました。この経験は、今の自分、そしてこれからの自分の糧になるものと今感じています。様々な経験をする事ができた高校3年間、この思い出を胸に今後、成長して行けたらと思っています。



横山 龍太  
(高42)

### 坊主頭の天高時代

天草で高校生になる特権の1つに、坊主から長髪へ生まれ変われる。思春期の男子にとっては、レベルアップのチャンスが到来する。男子たちは不慣れな整髪で毛先を遊ばせつつ、新しいクラスに乗り込むのである。ところが、私は入学式の前日、バリカンを入れた。野球をするからという訳ではなく、部では長髪がOKであり、とっぴ先輩が多く、茶髪やそりが日常であり、モテようという気力が充満していた。私はハツラツとして球児です！ということなら、坊主は一目瞭然ですが、そうではないから、たちが悪い。晴れ舞台である、思春期のステージに上がる事を恐れた。自意識が突然到来し「髪型でモテよう」という魂胆を探られるのが面倒と感じたのだ。そのため、伝統である体育大会で巻くハチマキ作成依頼のイベントには参加できず、出てきた写真が集団の中でハチマキを付けない素の坊主の私。時は流れ、今年45歳の誕生日に、高校生以来の坊主頭に戻りました。今度は自分へのこだわりを別れを告げ、自意識を解放するため、もっと楽に、楽しく生きようと思ったからでした。



# 私の天高時代

新校舎時代 ～31回生以降～

昨年度も多くの皆様からご寄附をいただきました。感謝申し上げます。ウクライナ侵攻、コロナ感染と大変な世界情勢ですが、今後の社会を担う若者を応援する必要性は続いています。ご協力をお願い申し上げます。

皆様からの心のこもったご寄附金が大きき手助けとなっています。ありがとうございます。

1,000円から 郵便局に備え付けの払込取扱票に、東京天草育英会の口座記号・口座番号(00100-4-362127)を、何口でも結構です。そして加入者名の欄に「一般財団法人 東京天草育英会」とお書きください

一般財団法人 東京天草育英会 理事長 園田峯生

☎03-6261-5598 URL <http://amakusa-ikueikai.com>

〒102-0093 千代田区平河町2-5-7 ヒルクレスト平河町501号

# 東日本大震災から10年過ぎて

松尾 弘美（高15）



（前号からの続き最終章）  
鎌倉市のホームページに

「東日本大震災の避難者の人は市役所の方へご連絡ください」とあったので、災害支援課へ連絡。直ちに※見舞金十万円※暮れに正月準備金として五万円※生活費補助金として月額三万円を1年間 ※年1回の一泊旅行（箱根・伊豆・熱海）へ2年間招待 ※各種イベントへの紹介、等が通知された。また鎌倉市の宗教団体が中心になり、一般のボランティア団体からも物心ともに厚い支援を頂いた。中でも「未来連福プロジェクト」は月に2度、西鎌倉の西ヶ谷住宅（元の雇用促進住宅）の集会所で交流会を開いてくれた。

（前号から）当時私は浪江町で民生委員をしていましたが、担当地区の人々も全国に避難して、安否の確認も取れなかった。私自身の生活が落ち着くと、担当地区の人々の安否が案じられた。浪江町の福祉課へ連絡を入れ、同時に鎌倉市役所を訪れ、当地に避難して来ている浪江町民への民生委員活動をさせてほしい、とお願いした。鎌倉市から神奈川県庁や福島県庁へ、そして浪江町と連絡が回り、許可が下りたのは3カ月後だった。浪江町から当地への住所録も個人のプライバシー保護などで時間が掛かってしまったが、皆さんから健康状態、住居ほか生活の悩み、福島県や浪江町へ対しての要望などを聞き取り、話し相手となるよう努めた。同じ避難の苦勞を共有した空気を感ぜられると皆さんに喜んで貰えた。二本松市でも、2カ月に1回の定例会が行われるようになり、県内外での民生委員・児童委員の活動状況の現状も学んで、令和元年11月末日退任した。一方で同じく浪江で、年齢60から80歳代の任意団体「たんぽぽクラブ」の事務局も担当していたので、会員から仲間の安否確認と再会の場を設けて欲しいとの要請を受けたが、やはり立ちはだかるプライバシーの壁。折も折、自分への浪江町宛郵便物が

転送されてきたのを見て、早速会員の元の住所へ葉書を送り、35人ほぼ全員の安否確認と現住所が取れた。そして全員がお互いを気遣っており、再会を希望していたので、体調が悪い会長の代わりに副会長と再会の場を企画。二本松市の岳温泉にて3月下旬に予定していた総会も兼ねて1泊2日の顔合わせ会を持った。みんなで肩をたたき合い、無事を確認し再会を喜んだ。その後も年に一度の交流会を行ったが、高齢化が進み、会長始め若い会員が数名を数えたのを機に5年後解散することになった。

その後私達は故郷の支援をするため「東北支援・鎌倉プロジェクト」を立ち上げ、西ヶ谷住宅の集会所を借りて毎月交流会を開いた。殆どは女性だが和布細工でトンボのストラップ、吊り籠、小物を作り、一品料理を持ち寄っては交流していた。海浜公園で行われる毎年恒例の「鎌倉ど市場」では「なみえ焼きそば」の売り上げで活動資金を作り、家族も一緒に温泉旅行等、被災者同士の絆を繋げた。その後、仲間も次々と福島県や他地域へと移り、この活動も続けられなくなったが、今でも1年に1度OB会として一泊の交流会を持っている。

特に未来連福プロジェクトさんは、会員による街頭募金やボランティアコンサートなどで資金を作り、翌年の3月から毎年被災市町村の人達を、バス代と臨済宗・建長寺への宿泊代無料で招待して下さっている。最初の招待は浪江町の子供と家族だった。放射能汚染が懸念される福島では外遊びができなかつた子供達が、久しぶりに満開の桜の下、両手を広げて走りまわる姿に、保護者達は「子供達の大きな笑い声を久しぶりに聞いた」と涙ぐんでいたそう。この支援は長きにわたり現在も継続して頂いている。

5年前「かながわ避難者とともにあゆむ会」「かながわ東北ふるさとつなぐ会」の存在を知り、そこで避難者、支援者の皆さんとお会いして

毎月の交流会や、あゆむ会の事業、バス旅行、散歩カフェ等にもご支援頂いたり、スタンプとして参加したりして繋がりも広がって行った。その繋がりで「広域避難者支援連合会」東京へ参加、更に「福島県人浜通り会」へもお誘い頂き、楽しい時間も過ごせるようになった。

この10年間を振り返って  
穏やかな生活を奪われた人。夢や希望を打ち砕かれた人。人生の指針を曲げられた人。多種多様な傷跡を残された被災者の心は重い。岩手・宮城の津波被害は直ちに自衛隊や国内外を問わぬボランティアによる復興活動が行われたが、福島県の双葉地区はセシウム等の放射能により、現地に入るのに時間を要したことで、ハード面は進んでいても、ソフト面は遅れている。というよりもそもそも重要視されておらず、特に県外避難者に対してはコミュニティの場所もない。県内なら福島市、郡山市、いわき市にあるのだが、それどころか時折我々を訪ねたり、イベントで顔を合わせると元気をくれた支援員さんまで年々減員となり、新年度からはひよっとして、と不安になるのだ。

夫は避難生活の中、帰町も叶わず平成30年1月6日鎌倉にて逝ってしまった。この世に生を受けてからの年数73年232日、後3日で結婚してから50年、金婚式だと云うのに。

令和3年2月 記

# 天草へUターンして

山崎 禮子(高21)



2011年にあの東日本震災がなかったら、間違いなく会社退職後は主人の

故郷、宮城県松島に居住していたでしょう。しかしあの震災で主人の実家は全壊、姪の家は流されてしまいました。私たちが訪れた時も毎回震度5強の揺れが続き、私たちは主人の決断で天草に移住を決めました。40数年ぶりの天草生活では、まるで浦島太郎のように、変わってしまった環境に暫くは戸惑うことばかりでした。

やがて会社で培った英語力を活かそうとECC塾を始めました。生徒に教える段階で何が一番大変かという、教材が東京中心に作成されている為に、天草ではなじみのないことばかりが出てくることです。例えば「この設備は東京ドーム何個分」



大江教会

と説明があつても、天草の生徒には想像ができないのです。また、地下鉄や電車、飛行機など一度も乗ったことがない子供が多く、単語が覚えられません。アミューズメントパーク、動物園、デパート、ショッピングモールもまだしかり。一度「東京って何県？」と聞かれた時はびっくり返りました！そんな苦労があつても毎日子供たちの成長は楽しみです。

また趣味として風景画を撮っておりますが、東京在住中は飛行機で北海道から沖縄まで、そして車で東北信州と、10年くらいは日本全国の撮影を楽しみました。しかし、天草は絵になる積雪も、紅葉も渓谷も霧も大きな滝も無い。風景写真をどうやって纏めようかと四苦八苦です。

そんな中で、コロナ前は毎年上京していましたが、その後天草に帰ってくるごほつとして自にびつくりしました。毎日色合いが変わる海を眺めながら、ゆったりとお茶の時間を過ごせることの優雅さに、今はしみじみと幸せを感じています。

もし天草ではなく東北に移住していたら、天草で再会して仲良くさせていただいている天草高校時代の同級生たちと会うこともなかったのだなと、こちらに帰れたことを、そして旧交を温められることに深く感謝しています。

# 35会 傘寿同窓会

【概要】山田清(高12)

【感想】岩崎定義(高12)



概要 山田清 私達12回生は、昭和35年3月に天草高校を404名が卒業しま

した。同窓生は日頃、会の名前を通称天高35会と呼んでいます。その35会の同窓会は、平成27年5月20日天草で開催され、前回は、関西在住の35会の皆さんのご手配で平成30年11月21日会場を京都において開催されました。

次の傘寿同窓会は関東でと声が上り、東京での開催が内定しました。ところが1年半前はコロナ感染が流行しており、関東あまたか35会世話人会で延期を決めました。



傘寿同窓会記念写真

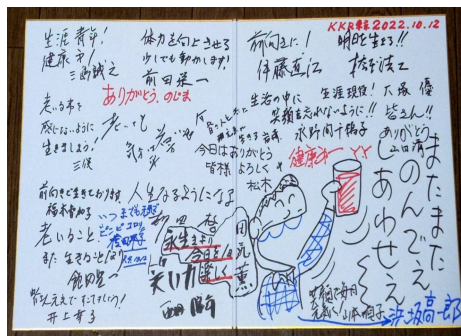
その後、令和4年10月12日(水)と定め、会場は東京都大手町のKKRホテルに決まりました。天草、熊本、九州に地区責任者、関西責任者、中京責任者、関東責任者と分担してスタートしました。

当日は天気も快晴で航空機・新幹線の運行も順調でした。遠くは仙台天草から27名が集合しての傘寿同窓会となりました。同窓会も1次会・2次会共々盛会で終了しました。傘寿同窓会を無事終える事が出来ました。



感想 岩崎 定義 傘寿までの生存者は77%、参加率は生存者の約10%。高齢での同窓会は感動ありハプニングありでした。

どの年代であれ同窓会は最高の楽しみ。楽しい歓談の一方でハプニングも半端ではありませんでした。大病を克服して着物まで持参して宴会で舞ってくれた人。また、参加した人にも味わいたいと申しでた人。この人には宴会のスナップ写真をラインにて動画を配信しました。因みに12回生では現在21名のグループで毎日トークが飛び交い今は楽しみの日課になりました。ハプニング



参加者全員の寄せ書き

の事例として、①案内状が届いていない人が参加者リストに ②式次第はプロジェクト案内と配布文書で順番と内容が異なる ③生存者が物故者の名簿に、人も登場 ④料理と料金のアンマッチ実感で2、3倍高 ⑤集合写真はL版、視力が衰えたシニアはルーペが必要な写真。宴会上に花を添えてくれたのは後輩。司会者は18回生のHさんをお願いし円滑に進みました。後輩のサポートに心より感謝します。参加者は九州、中京、地元関東から参加しての最後の同窓会。懐かしい友と歓談し想い出に残る宴会ハプニングは、シニア特有の技なのかと感動と不安感が混在した同窓会でした。同窓会を顧みて、傘寿の社会活動にはサポーターが必要な年齢だなと改めて実感しました。

## 東京牛深ハイヤの会

下川 洋子（高15）

牛深港は、天然の良港として、江戸時代に帆船の風待ち港、時化待ち港として繁盛した。寄港した船乗りをもてなすために歌い踊られたのが「牛深ハイヤ節」です。寄港した船乗りによって、港から港へ日本全国津々浦々に伝わり、日本に40以上あるといわれるハイヤ系民謡の元歌とされています。「ハイヤ」とは、もともと南風のことを「ハエの風」と呼んでいたものが牛深地方で訛ったものとされています。あの有名な「阿波おどり」や「佐渡おけさ」のルーツも「牛深ハイヤ」だといわれています。

「東京牛深ハイヤの会」は、発足して10年を過ぎました。東京ドームで開催される「日本ふるさと祭り」をはじめ関東各地で行われるイベントに参加してまいりました。2020年のコロナ感染が始まってから2年間はほとんど活動できないような状態でした。

2022年になって、やっと出演できるようになり、2022年は、①5月8日（水）千葉県安房郡鋸南町勝山港で行われたキングレコード所属、なでしこ姉妹の新曲「ハイヤが聞こえる港町」のDVD作成に協力し、②7月24日（日）、30日（土）「食と祭りの殿堂 浅草横町」に出演し、③11月14日（月）「熊本県人会」などに出演しました。

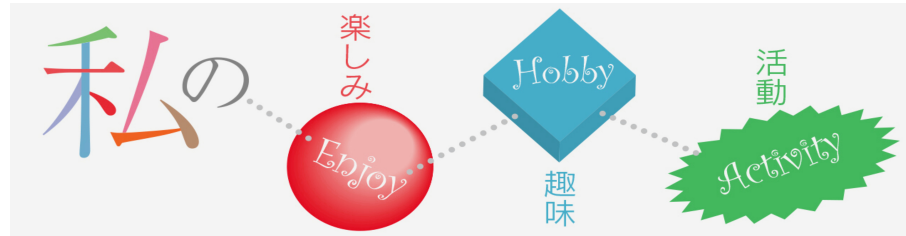


第11回日本ふるさと祭りin東京2019

2023年からは、1月15日（日）～17日（火）「第13回ふるさと祭りin東京2023」を皮切りに各種イベントに出演します。

興味のある方は、是非「東京牛深ハイヤの会」に入会していただき、ご一緒に「牛深ハイヤ節」を踊り、天草を宣伝しましょう。

昨年、会長を山下敏宏（高58）さんに引き継いでいただきました。



## 定年後始めた水泳

宮崎 弘通（高17）

私は定年後、暇つぶしとして水泳を始めました。一日2km、週に2～3回プールに行っています。以前、「ドーバーババ」という映画があることを知りました。家庭で介護等色々問題を抱えた60代女性が、6人でドーバー海峡を泳ぎ切るというドキュメントです。「すごいなあ、私もやろう！」日本列島3000kmを泳いで縦断したら面白いと思いつきました。50mを一分くらいで泳ぎ、休みを含め、一時間くらいで2kmとなります。帰宅したら一時間ほど昼寝をしてしまいます。北海道をスタートして11年目、今大阪を過ぎた頃だと思いますが、歳も取ってくるし、なかなか大変です。

私は天草五和町内野で生まれました。前には内野川、向かいには円教寺があり、田んぼに水を引くための堤防があって、

良いプールになっていました。メジロ・松茸取り、時々スイカ失敬等、遊びは山ほどありましたが、夏休みの水泳ほど面白く解放感を感じたことはなく、一日中水の中で遊んでいたものです。その後40年以上中断していましたが、子供の頃の遊びの体験は身体に染み込んでおり、すぐに思い出します。本当に大切なことだと思います。

日本列島縦断を達成できるまで、あと5年くらいかかります。皆さまお元気でお願いします。



松戸市市民水泳大会賞状

## 言葉の脳トレ川柳

荒川 さなえ（高25）

私の趣味は川柳です。今までどんな趣味や習い事でも、3年もすると恋が冷め気が付けば次の恋に走っていたものです。今度は続いているねと夫に言われています。柳歴は20年近くになりますが、さぼってばかりでちょっとも上達していません。その間、車椅子の母を天草から茨城に連れてきて看取るまでの介護、娘達の結婚出産の手伝い等しばらくお休みする事が何度もありましたが、退会はしませんでした。

川柳は非常にオープンな会でどなたが来られてもウエルカムです。そのためか句会をいくつも掛け持ちされる方がほとんどです。また、川柳は明るく前向きな句が選ばれる傾向にあり、そういう発想が人生を前向きに笑い飛ばして乗り切ろうという気にさせます。5・7・5の17文字に自分の想いを第三者にわかるように伝えるのは思った以上に頭を使います。

私が川柳を始めたきっかけは2回の脳手術です。退院後中々体調が戻らず仕事を辞めることも考えたのですが、主治医から強く復帰を勧められました。恐る恐る仕事に戻ったものの会話の中で脳の引き出しから気に入った言葉が出てこず、イライラが続いていました。

そこで言葉の脳トレの場として飛び込んだのが川柳でした。季語を覚える必要もなく簡単そうに思えたのですが、奥の深い趣味でした。

今は仕事を辞めたら行きたい柳社にかけ、仲間と全国の大会に参加したり、通信教育等を受けたりする事を楽しみにしています。



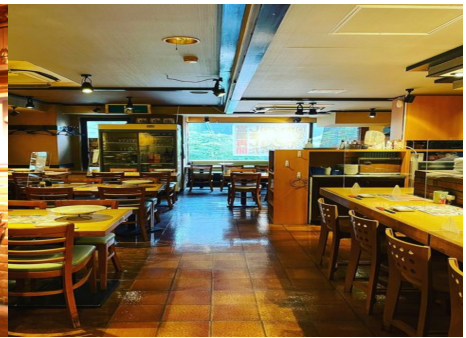
川柳の会にて



青山本店



表参道店



外苑前店

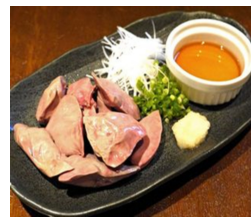
### 「ひごの屋」の紹介

- ・高11回生長谷場亮祐さんが会長を務めるお店
- ・創業から55年が過ぎ、表参道の老舗の焼き鳥店
- ・表参道に青山本店・表参道店・外苑前店の3店舗
- ・平田俊清第8代関東あまたか会会長時代の役員会は、毎回表参道店にて開催し、会議終了後、美味しい焼き鳥をつまみに懇談会を楽しんだお店
- ・洗練されたオシャレな街で知られる表参道で「焼き鳥デートするならココ！女性が喜ぶ人気店7選」に選ばれるほど、大人のデートにピッタリなお店として紹介されている
- ・焼き鳥の鶏は、岩手県二戸郡の専用養鶏場の地鶏を毎朝冷凍せず直送。

### 人気のあるメニュー



焼き鳥盛り合わせ  
炭火焼でジューシーで  
柔らかく香りいい



1日5食限定レバトロ  
丁寧に加熱したレバー、  
ふわふわととろける食感



ささみのとろポン酢  
しっとりフワフワのとり  
ささみに玉ねぎとネギ



ぼうぼう焼き  
(鶏ももの炭火焼)  
柔らかくジューシーなお肉  
と炭の香り



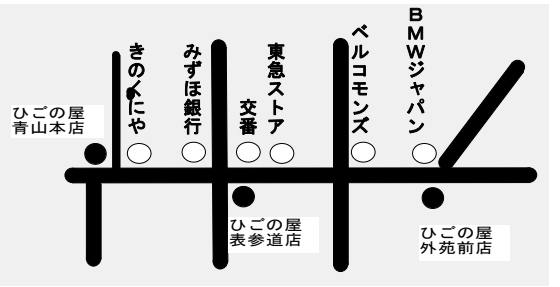
とりめし雑炊「白」  
長時間煮込んだ鶏スープ  
たっぷりの雑炊

### アクセス

**青山本店** (☎03-3406-1766)  
東京都港区北青山3-12-7カプリーズ青山2F  
地下鉄千代田線・銀座線・半蔵門線表参道駅B2・B1出口徒歩2分

**表参道店** (☎03-3423-4461)  
東京都港区南青山3-18-17 エイジービル B1F  
東京メトロ銀座線・千代田線・半蔵門線【表参道駅】徒歩1分  
※地下通路A4地上口すぐ

**外苑前店** (☎03-3403-3079)  
東京都港区南青山2-27-28グラン青山2F  
東京メトロ銀座線【外苑前駅】徒歩2分  
青山通りとスタジアム通りの交差点



**おかげさまで50周年**

天草に生まれ、天草の人に育てられ、  
天草の「食」と共に50年。  
100年に向けて、新しい1歩を。  
天草のお食事処ヤヒログループ  
ビーヤヒロ・あまくさ村・いけすやまもと

警備に関することは  
なんでも相談せんね！

**(株)機動警備**  
代表取締役社長  
**山下 純二**  
(天高19回生 姫戸出身)

電話：048-728-5530  
FAX：048-728-8085

Amakusa Santa Coming Hotel Bridal Plan

**サンタスティックウェディング**

ゲストと一緒に楽しむ結婚式を！  
ゲストのお客様と一緒に楽しみ、おもてなしを第一に考えた結婚式です。是非ご相談ください。  
→プラン内容など詳しくはホームページをご覧ください。

http://red-happiness.com

**アマクサ サンタ カミング ホテル**  
〒863-0043 熊本県天草市亀場町亀川 74-3  
TEL 0969-22-0100 FAX 0969-24-3472

## 「エコプロ2022」に参加

科学部アマモ班は、(一社)サステナブル経営推進機構及び日本経済新聞社主催の「エコプロ2022」に参加しました。会場は、日本最大展示場「東京ビックサイト」で12月7日～9日の間開催されました。

今回は「STI for SDGs」アワードの次世代賞を受賞した研究を発表しました。

発表はJST（国立研究開発法人 科学技術振興機構）のブース内で行いました。

校外学習の小中学生や企業の大人の方々などが来場され、多くの方々にアマモ班の研究を発表できました。65,000名来場。



エコプロ2022の看板前にて

11月のサイエンスアゴラに続いて2度目の東京での発表になりました。

### 【科学部】優秀賞受賞！ くまもとSDGsアワード (SDGs未来づくり部門)

12月23日、科学部アマモ班がくまもとSDGsアワードのSDGs未来づくり部門で優秀賞を受賞しました。熊本日日新聞社の本社で行われた表彰式では、蒲島知事など多くの方々の見守りの中で、研究発表を行いました。

今後は天草ブルーカーボンニュートラル達成のためにデータを積み重ねていき、具体的な行動策定に努めていきます。（天高HPから抜粋）



天草高校便り

## 夢を見つけた天高3年

天草高校 3年 角中 結理



本渡中学校から天草高校に入学し、この4月から青山学院大学経済学部現代経済デザイン学科に入学することになりました角中結理です。

天草高校ではサッカー部に所属し、主にサイドバックを務めました。最後の高校総体では強豪校との対戦で、負けてしまったものの悔いのない試合ができたことは、良い思い出になりました。

委員会では、ボランティア委員長として募金活動や清掃を行ったほか、天草市のボランティアトークイベントで市長とディスカッションもしました。「総合的な探求の時間」という授業では、天草の海洋ゴミ削減の方法について研究しました。天草で高校生活を送ったことで、生まれ育った地域のことを詳しく知ることが出来ました。



私が青山学院大学経済学部への志望したのは、高校の学習で、地域経済の活性化に関心を持ったことがきっかけです。地域経済を豊かにするための政策や取組を、もっと学ぶことが必要だと感じました。大学で、地方分権と企業誘致についての知識を深めたいと考えています。

将来は、地域に根ざした商品のプロデュースや開発、販売にかかわることが夢です。全国の人に受け入れられるような商品を、地域と連携しながら開発し、地域経済活性化という形で社会の役に立ちたいと考えています。

初めての東京生活、初めての1人暮らしには不安もありますが、同窓生の先輩方がたくさんいらっしゃると思うと、心強く感じます。これからどうぞよろしくお願ひいたします。

## 天草便り

### 熊本県富岡ビジターセンター・リニューアルオープン

西田 勝年(高12)

熊本県富岡ビジターセンターは、平成17年4月に富岡城跡にオープンし、雲仙天草国立公園の紹介、天草地域の魅力ある自然景観・歴史・文化・環境などについて情報を発信しています。令和4年9月17日にはリニューアルオープンし、新しくなりました。

最大の見どころは、3面スクリーンで天草の海中世界を体感できる「天草パノラマダイブ」です。天草を囲む東シナ海・有明海・八代海それぞれの特徴を水中カメラの映像とともに紹介しています。ほか、タッチパネルでの簡単な操作で、日本の国立公園や世界の国立公園を映像で見るこ

とができます。また、映像で富岡半島の植物や天草の海の生き物が学べます。天草の自然が一目でわかるパネルなど、見どころたくさんです。

富岡ビジターセンターは、富岡城の本丸跡に位置しており、外観はかつて実在した本丸多聞櫓をモデルにしています。リニューアルオープンに合わせ私も見学してきました。当日は、北海道や仙台市の方が見えていました。全国各地からの見学者も多いと聞きます。

天草に帰られたときは、富岡ビジターセンターを見学され富岡城跡を散策されたら如何でしょうか。



天草パノラマタイプ

国立公園の映像

植物や海の生き物

富岡城

ご理解・ご支援・ご協力を賜り、誠にありがとうございます

令和4年度年会費を納入された会員の皆様(12月31日現在)

Table listing members who paid the 2022 annual fee. Columns include member name, age, and a grid of 28 columns for other members. Includes names like 大塚 博幸, 中嶋 正毅, etc.

令和4年度年会費に加えて、ご寄附を賜りました会員の皆様

Table listing members who also donated. Columns include member name, age, and a grid of 28 columns for other members. Includes names like 土黒 定信, 西田 勝年, etc.

令和4年度までに令和5年度年会費を納入された会員の皆様

Table listing members who paid the 2023 annual fee by the end of 2022. Columns include member name, age, and a grid of 28 columns for other members. Includes names like 植村 嗣久, 宮本 東志美, etc.

お名前の記載漏れや間違いがありましたら、お手数をお掛けしますが事務局までお知らせください。

令和4年度会計報告

Accounting report for 2022. Table with columns for 'Income' (収入) and 'Expenditure' (支出). Total income: 3,938,897; Total expenditure: 3,938,897.

令和5年度予算報告

Budget report for 2023. Table with columns for 'Income' (収入) and 'Expenditure' (支出). Total income: 4,721,632; Total expenditure: 4,721,632.



# 事務局からのお知らせとお願い



## 会報第45号の寄稿文等のお願い

会報45号では、下記の寄稿文を募集しております。皆様、是非振るってご参加ください。

- ① 私の健康法：文字数390字 顔写真
- ② コロナ禍3年を振り返って：文字数390字 顔写真
- ③ 私の天高時代：文字数460字 顔写真
- ④ 私の楽しみ、ボランティア、趣味：文字数650字 題名に関する写真1枚
- ⑤ 日頃思っていること、旅行記、随筆など文字数600字 顔写真、題名に関する写真1枚

寄稿文のお送付先は、事務局長吉村いつみ宛にお願い致します。

〒353-0004 埼玉県志木市本町5-17-5-606  
E-mail:kimicchan135@gmail.com  
Tel & fax:048-476-5853 携帯：090-8000-1722

## 令和5年度総会・友好の集いのご案内

コロナ禍のために令和2年度から4年度までの3年間は対面での開催はできませんでした。令和5年度は、対面で「総会・友好の集い」を下記のとおり開催しますので是非ご予約に入れて下さい。

- 1 日時：令和5年10月22日（日）12:00～15:00、
- 2 場所：スクワール麹町（☎03-3234-8739）

JR四ツ谷駅前

詳細は、会報45号にてお知らせいたします。

## ホームページ・リニューアルのお知らせ

この度、関東あまたか会のホームページを新しくしましたので、ご覧下さい。昨年7月に役員会でホームページを新しくする提案が上がり、ホームページ・リニューアル委員会を立ち上げて議論を重ね、12月に完成しました。シンプルですっきりしたデザインにし、色は天高カラーの紫を使いました。天草フォトライブラリーのページを新設しました。新しいホームページは、制作ソフトをワードプレス（WordPress）に変更しました。それにより、誰もソフトを購入する必要がなく、複数の人がページの作成・更新に関わることができるようになりました。

旧ホームページは年末まで維持します。しかし、内容は更新されません。Googleなどで「関東あまたか会」と検索すると、旧ホームページが表示されます。旧ホームページのトップ記事に「新しいホームページが完成しました。リンクはこちら」と記載されています。ここをクリックすると新しいホームページへリンクします。

新しいホームページのURLとQRコードは、下記のとおりです。

URL:<https://kantouamataka.com>

ホームページ・リニューアル委員会  
委員長 松野 明久（高27）



## 令和5年度年会費等の払い込みのお願い

お陰様で、会は堅実かつ順調に運営されています。令和4年度会計決算は11ページに記載のとおりです。令和5年度年会費及び寄附金納入は、同封のゆうちょ銀行の払込取扱票をご使用ください。振込手数料は会で負担しますので、会員の皆様は無料です。但し、現金での振り込みには110円の手数料がかかりますのでご注意ください。払込取扱票には、お手数ですが住所・氏名を記載してください。

振替口座は下記のとおりです

- 1 ゆうちょ銀行から振り込む場合
  - ・口座記号番号：00180-6-487424
  - ・口座名義：関東あまたか会
2. 他の銀行から振り込む場合
  - ・銀行名：ゆうちょ銀行
  - ・口座名義：関東あまたか会
  - ・店名（店番）：〇一九（ゼロイチキュウ）店（019）
  - ・預金種目：当座
  - ・口座番号：0487424

「浮世のことは忘れて、少年時代の思い出に浸ってみたいと思います」と始まる文章は、同級生が、同人誌に寄せたものです。彼は、川遊び、稲刈り後の田んぼでのソフボール、早期の稲刈り、高校2年の時に行った南九州のサイクリングと今でも鮮明に覚えているそうです。特にキャンプ道具を自転車に乗せての10日間の旅は大冒険であったと、昨日のことのように書いています。しかし、東京に出てきてからの記憶がないのですと結びます。そして、「私はいまだに少年時代の思い出で生きている」と表現しています。皆様はいかがでしょうか？同じような記憶や体験をなさった方も多いかと思えます。天草の自然と人々は、丈夫な身体としなやかな心を育てるのでしょうか？「私の天高時代」では、皆様の思い出を語っていただきました。生きる糧（少し大げさですが）のひとつとして、楽しんでいただければ幸いです。

上記のホームページもご覧いただけますので、まだしばらく紙媒体の時代は続きそうです。引き続きご愛読をお願い致します。

## 編集後記

吉村 いつみ（高25）

謹んで哀悼の意を捧げます。

高9 五嶋 成 様  
（令和4年3月）

高20 永野 裕司 様  
（令和3年）  
（前号未記載）

この1年間に逝去された方をお知らせいたします。